神社山自然観察路一般公開で自然ガイドに挑戦

森林学習プログラム

投稿者：:
Posted on : 2022-6-7 20:15:14

6月5日（日）に東京大学北海道演習林と富良野市の共催で、神社山自然観察路一般公開が開催され、森林学習サポーターの５名が自然ガイドに挑戦しました。

10時に旧樹海中学校をスタートし、尾根筋に広がる山火事跡（明治期）の林を登坂しながら、自然観察はスタート。ここはシラカンバやウダイカンバが見られ、２種の見分け方などをレクチャー。キタコブシの葉や枝の柑橘類のような爽やかな匂いを嗅ぎ、柔らかい毛が無数にあるアサダの葉のもふもふとした手触りに癒されました。

観察路の途中から、健脚コースとまったりコースに分かれ、健脚コースは針葉樹のトドマツが優占する林をさらに登坂、まったりコースの皆さんは傾斜の緩やかな林道をゆっくり歩きながら、「これはなんだ？」「これはあれじゃないか」などと図鑑を片手に議論しながらわいわい進みました。健脚コースでは、エゾライチョウの親子にばったり遭遇！！逃げ飛ぶ親鳥を追って、８羽ほどの雛鳥が斜面を逃げ下る様子は可哀想ではありましたが、とても可愛らしく、私たちにとってはとてもラッキーな（エゾライチョウにはアンラッキーですが）思い出に残る出会いになりました(夢中になりすぎて画像がありません。。。)。

12時に各自持参したお弁当で昼食休憩を取った後、胸高直径が120㎝を超えるミズナラの大木に触れてきました。みなさん、「これはすごい」と驚嘆。ミズナラは経験的に胸高直径が70㎝を超えると内部に腐れが入っていることが多いのだそうで、おそらく伐倒しても樹齢を正確に数えることはできないだろうとのことでした。

神社山のもう一つの見どころは、なんといっても東屋からの眺望です！１週間前の予報では、天候が危ぶまれましたが、一転して散策日和となり、夕張山地と農村景観の絶景を眺望することもできました。なんてラッキーな１日。。。

演習林の職員さんにたくさん助けていただき、サポーターも大変勉強になった１日になりました。次に出会うお客様に学んだこと、体験したことを伝えていきたいですね。